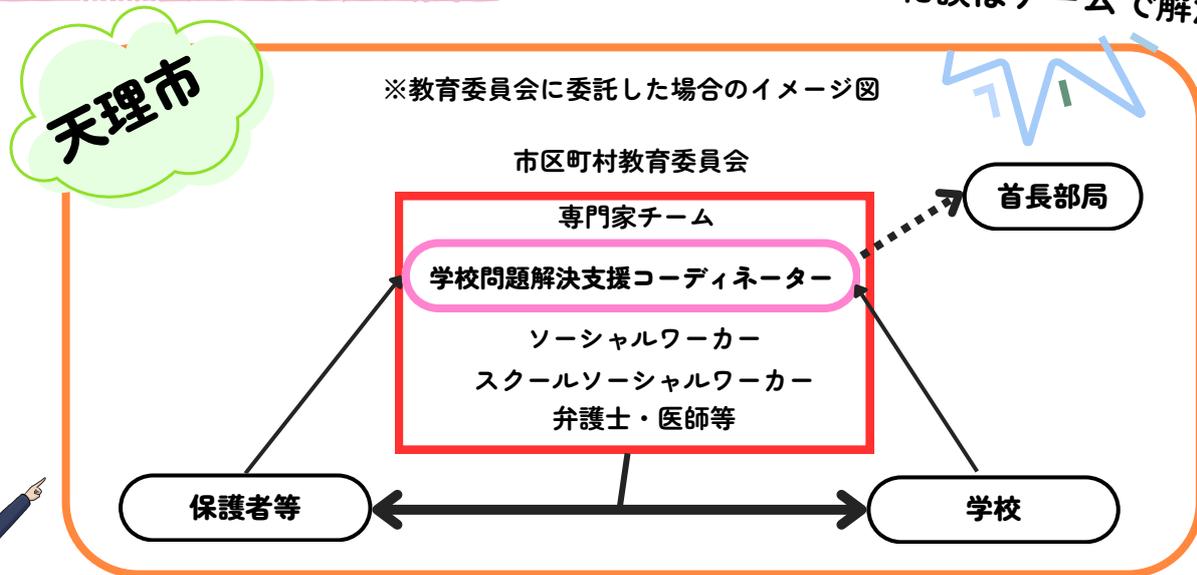


立春の候、暦の上では春になりました。報告が遅くなり申し訳ありません。本年も引き続きよろしくお願ひ致します。秋から冬にかけて地域では様々な行事があり参加させていただきました。どれも後世にも残していきたいものばかりです。議会からも地域の一員として引き続き考えてまいりたいと思います。さて12月議会での一般質問や私の活動など一部抜粋をしてご報告させていただきます。もうしばらくは寒い日が続きます。体調を崩さなよう気をつけてお過ごしください。

## 令和6年12月第4回定例議会 一般質問

### 子どもたちの健全な環境づくりについて

難しい相談はチームで解決



### 子どもと親からの相談員への相談件数は？

令和5年度の子どもと親の相談員への児童生徒からの相談件数は小学校619件、中学校1303件。保護者教員からの相談件数は、保護者185件、教員387件。スクールソーシャルワーカーへの相談件数は281件

### 保護者の学校への相談件数はどれくらいか

様々な相談がある。研修の集計はしていない。相談事例としては児童生徒の人間関係や授業・学習のこと、中学校であれば部活動関係の相談や進路相談と多岐に渡っている。

### 相談員を配置で教員への業務負担減になっているか

相談しやすい身近な存在としての役割を担っている。教員の負担軽減に繋がっているほか、児童生徒の抱える問題の早期発見や早期解決に繋がっている。

### 保育士が保護者対応に困った場合の相談は？

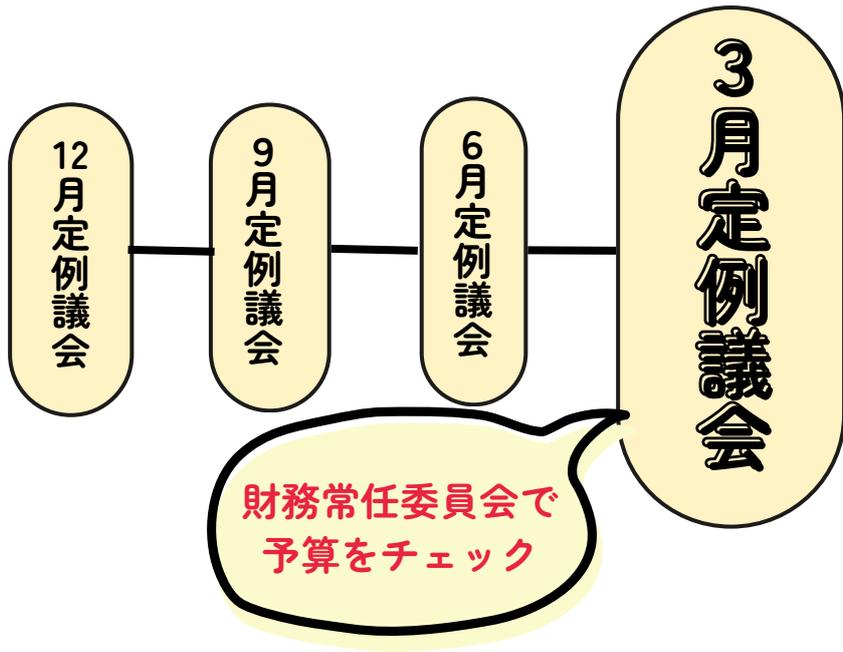
園長に相談して対応し、さらに対応が困難な場合には、指導保育士及び子ども家庭課職員が相談窓口となっている。

### 天理市のような行政が問題解決のための支援体制の取組を取り入れるのはどうか？

子どもに関する相談窓口を学校等とは別に一元化する取組については、令和6年4月に新たに取組みを始めたもので、教員等の負担軽減につながる成果が出るかどうかについては、引き続き確認が必要。相談窓口が学校等から離れることにより教員等の負担が軽減する一方で、日々の相談が学校等の現場から離れることで、保護者等との官憲が希薄になってしまうことや事実が見えにくくなる恐れがある。今後も動向を注視して研究していきたい。

学校や保育現場から相談窓口を完全に切り離すのではなく、早い段階から専門チームが取り組むことで、子どもたちが心地よい居場所ができる環境作りが大切

# 【地方議会の年間スケジュールは？】



“ 3月定例議会は令和7年度予算を話し合う議会 ”

令和7年度にどんな新規事業が始まるのか？継続の場合はどのように使っていくのか？市民サービスに直接関わる議論が行われる議会です

～きてちょ～  
議会報告会～



**参加費無料**

今年も予算についての意見公開会を開催します！  
皆様の声を予算審議のときに反映させていただきますのでぜひ足を運んでください

2月22日(土)10:00～12:00  
場所:岩倉市生涯学習センター研修1.2  
住所:岩倉市本町神明西20サクランド岩倉2階

## 10月～12月の活動報告

### 天理市子育て応援・相談選センター～ほっとステーション～視察



校長先生など管理職へのなり手がいない、現場は疲れている。保護者の不安に向き合い、子どものためには何か？を解決していく。ほっとステーションの専門チームが橋渡しとなる。職員を増やすだけ

の対応では限界があると感じ、このような専門チームで対応する機関を提案した。



### 他市から行政視察の対応

岩倉市には議会サポーター制度について知りたいと視察の依頼が多いです。毎年8月から1年間お願いをしています。議会からお便りが届いて興味がありましたらぜひサポーターに！！

### 厚生文教常任委員会で視察

11月5～6日の日程で岩手県岩沼市と東京都練馬区へ。第三の居場所の運営はどうか？練馬区では認知症に対する事業を学びました。認知症は年々増えているため対応が必要と思いました。



### 毎月第1日曜日草刈り活動に参加

アダプト・プログラムの一環で街の美化活動  
秋からは草を刈るものが少ないです。冬は落ち葉拾いも検討中だそうです。

発行元：参政党岩倉市議会議員 堀江たまえ  
☎ 070-9168-0896(変更になりました！)  
✉ horie.tamae@gmail.com



お気軽に  
お問合せください！